

# 「迎春」- 新年のご挨拶 -

第109号

美<sup>うつく</sup>しまち<sup>まち</sup>こところら  
観光協会だより



新年明けましておめでとうございます。

日頃は本協会の諸事業に格別のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本協会は、琴浦町の「総合計画」など重要な計画の方向性や考えに沿って、町と一緒にあって観光の分野などに取り組み、元気なまちづくりをめざす組織です。事務所は道の駅「琴の浦」の手前にある建物で、職員4名の体制、年末年始の4日間の休日以外は年中無休で窓口を開いています。

事務所は毎日多くの人でにぎわい、窓口での対応も大変忙しくしています。いろいろな問い合わせなどがありますが、本年はより一層、この窓口が琴浦町の表玄関との認識をもって、丁寧でわかりやすい対応を心がけ、多くの人に心から喜んでいただけるようにいたします。琴浦町のイメージアップ、琴浦町のファンづくりに一層努力いたします。

昨年、本町の2つの道の駅が「とびうおロード」でつながり、この道路の交通量も増えて、新しい可能性を予感させる環境が整いました。本町の海岸線エリアを一体として捉え、構想を描きイメージすることが大切です。本町の新しい玄関の認識が必要です。

本町の観光資源は多様で豊かで可能性に満ちています。日本海から「烏ヶ山」まですべて潜在的観光資源です。発想の転換、町民みなさまの地域力や連携、情報戦略の展開などを駆使すれば、よりすばらしいまちづくりは夢ではありません。今、観光のイメージ、観光の定義は大きく変わりました。従来型ではありません。

私たちは、このように本町を鳥瞰するような視点を持ちながら日々の業務をまいります。

今、「神崎神社」通称荒神さんが注目されています。関西方面からミステリーツアーの旅行企画で月に約10台の大型観光バスがやってきます。

塩谷定好写真記念館関連では、去年は鳥根県立美術館、鳥取県立博物館でいずれも個展、特別展が開かれました。写真集も東京の出版社から出され全国の書店で好評販売中です。昨年11月には2回にわたり遠くロシア、モスクワから30人の写真愛好家が当写真館を訪れています。

山陰唯一、国の特別史跡斎尾廃寺跡を活用した、グラウンドゴルフ大会が県内を中心とした参加者240名以上で盛大に開催されました。白鳳の郷地域活性化協議会の活動、面目躍如です。

東京オリンピック開会式、メインスタジアムの芝は、鳥取県の芝で(株)チュウブ(本協会会員)さんの仕事です。

国が定めた「歴史の道百選」の「大山道」のひとつ「川床道」は関金、地蔵峠、一向平、大山滝を経て川床、大山寺に至る古道です。県下では三古道が選定されています。あらためてスポットライトを当てる価値ある観光資源です。

本協会は今後とも地道な努力を重ねてまいります。

町内外のみなさま格別のご高配を賜りますようお願いを申し上げますとともに、新しい年がみなさまにとりましてよい年となりますよう重ねてご祈念申し上げます。

令和2年 元旦

琴浦町観光協会  
会長 山下 一郎

〒689-2502  
鳥取県東伯郡琴浦町別所1030-1  
道の駅「琴の浦」道路・観光情報棟内  
TEL・0858-5517811  
FAX・0858-5517800  
kankou-kyoukai@town.kotoura.tottori.jp  
http://www.kotoura-kankou.com/

発行者  
琴浦町観光協会  
2020年1月 発行



12/1日  
琴浦町観光協会  
会員日帰り研修  
兵庫県福崎町・朝来市  
穏やかな好天の12月1日参加者31名で、兵庫福崎町の辻川界隈にある民俗学者「柳田國男生家」、姫路藩の大庄屋「三木家住宅」を訪れました。昼食では、「もち麦」の生産地ならではのもち麦をいただきました。その後、朝来市にある、日本遺産「生野銀山」では、銀山隆盛を今に伝える坑道内を歩きました。鉱員たちが命を託し、地中深く降りていったエレベーター立坑は圧巻でした。近代的坑道にそって人が這って掘り進んだ江戸時代の狸彫りの生々しい鉱脈も見ることができました。近代化産業遺産の「神子畑選鉱場跡」など、かつての鉱山の町の歴史を感じる時間を過ごすことができました。

因幡伯耆国開運八社巡り  
子年開運手ぬぐい&福紗  
販売中!!  
八社巡り  
福紗